

 Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ 

Title	Effects of Statin Versus the Combination of Ezetimibe plus Statin on Serum Lipid Absorption Markers in Patients with Acute Coronary Syndrome
Author(s)	渡辺, 絵梨沙
Journal	2015
URL	http://hdl.handle.net/10470/31130

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 591 号	氏 名	渡 辺 絵 梨 沙
審 査 委 員 会	主 査 教 授	萩 原 誠 久	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>急性冠症候群(ACS)患者において、標準的スタチン治療に、コレステロール吸収抑制薬のエゼチミブを併用することが LDL-C およびコレステロール吸収マーカーにどのような影響を与えるかを検討した。ACS の診断で入院し、薬物治療の有無に関わらず入院時 LDL-C が 100mg/dl 以上であった 197 人を対象にし、ピタバスタチンのみを投与する標準的治療群(P 群)とピタバスタチンにエゼチミブを追加する積極的治療群(P+E 群)の 2 群に無作為割付を行い、LDL-C、コレステロール吸収マーカー(シトステロール、カンペステロール)、コレステロール合成マーカーとしてラソステロールを測定し、検討した。LDL-コレステロールの低下率は、P 群は-37%に対して、P+E 群は-52%であった。シトステロール、カンペステロールは、P+E 群においてのみ有意な低下を認めたが、ラソステロールは両群間で有意差を認めなかった。LDL-コレステロール管理目標値 100mg/dL 未満の達成率は、P 群で 81%、P+E 群で 92%であった。さらに、LDL70mg/dL 未満達成群と非達成群では、非達成群の治療前のコレステロール吸収マーカーが有意に高値であった。したがって、ACS 患者では、スタチン療法にエゼチミブを併用することにより、LDL-コレステロールの更なる低下作用、およびコレステロール吸収マーカーの有意な低下を認めた。コレステロール吸収マーカーが高い群では、エゼチミブ併用が有効である可能性が示唆された。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			